

【技能五輪国際大会の概要】

- 原則22歳以下の青年技能者を対象に、技能競技を通じ、参加国・地域の職業訓練の振興及び技能水準の向上を図るとともに、国際交流と親善を目的に隔年で開催。幅広い職種を対象とする、唯一の世界レベルの技能競技大会。日本選手団は、1962年から参加。これまで日本では、過去3回国際大会を実施（1970年東京、1985年大阪、2007年静岡）。
- 国際大会はワールドスキルズインターナショナル（本部オランダ・WSI）により運営されており、現在79か国・地域が加盟。日本は中央職業能力開発協会（JAVADA）が加盟。
- 直近では、2017年10月に第44回技能五輪国際大会（アラブ首長国連邦・アブダビ）が開催。今後の国際大会は、2019年8月にロシア・カザン、2021年9月に中国・上海で開催予定。

【招致立候補の決定等】

- 2017年9月22日、厚生労働省として、2023年の技能五輪国際大会の招致（日本・愛知県）に立候補することを決定。同日の閣議において加藤厚生労働大臣から関係省庁にも招致に向けた協力をお願いしたい旨発言。
- 同年10月、アブダビで開催されたWSI総会において、日本が招致に立候補する意思があることを表明し、WSI役員や加盟国等に対して支持要請を実施。
- 2018年4月18日現在、立候補を国内で明言している国はフランス、立候補を検討している国はスイス。



2019年8月の招致決定に向け、オールジャパン体制で招致プロモーション活動、国内機運の醸成等に取り組む必要。

【2023年技能五輪国際大会招致委員会について】

- 2023年技能五輪国際大会の日本・愛知県への招致に向けて、オールジャパン体制による各種取組を実施するため、2018年4月18日に設置。
- 池澤あやか氏のほか、労使団体、技能関係団体、愛知行政関係者、有識者など、幅広い分野で活躍する31人をメンバーに構成され、委員長には、大村秀章愛知県知事が就任。
- 国際大会の招致、国内の招致機運・技能尊重機運の醸成、技能五輪国際大会に出場する選手の強化策などについて審議を行う。（今年度は3回開催予定）